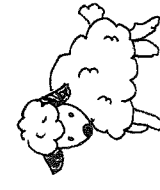
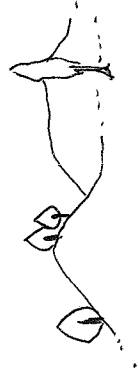


いずみのひろば

2022年11月号
日本基督教団堺教会
NO.526 教会学校



少年ダビデ

サムエル記上 16:4-13

いすらえるくに おうさま たんじやう イスラエルの国に王様が誕生しました。王様が欲しかった民は大喜び！
けれども、王様に選ばれたサウルは、だんだんと神様を軽んじるようになっていきました。
そんなサウルを見て、神様はサウルを王様に選んだことを後悔されました。
そして、サムエルさんにベツレヘムに行くように言いました。
ベツレヘムに住むエッサイさんの息子を次の王様に選んだ、と言うのです。
エッサイさんの家には、なんと7人も男の子がいました。
でもね、7人とも神様の選んだ子ではなかったのです。

「おかしいなあ？」 そう思ったサムエルさんは、他に息子がいないか、聞いてみました。
すると、「実はおう一人、一番下の子供がいます。今、羊の番をしています。」 という返事でした。
サムエルさんは、急いでその子連れ帰ってくるように頼みました。

そうして、やってきたのが、小さな小さな羊飼いの少年、ダビデでした。
神様が、どうして小さな少年のダビデを選んだのかはわかりません。

でも、ダビデはこのあと、神様から力を受けて、王様にふさわしい人に成長していきます。
サムエルさんが、最初に神様の言葉を聞いた時のお話を覚えていますか？

その時のサムエルさんも小さな少年でした。神様は小さな子供にも声をかけられるんですね。
だから、いつも心を澄ませて、心を神様に向けて、神様の言葉を聞く準備をしておくことが大切です。
そして、もうひとつ、わたしたちも神様に選ばれて、教会に来ました。

聖書のお話を聞いて、イエスさまに出会いました。

イエスさまに出会ったことに感謝して、神様の子供として、ふさわしく歩んでいきたいと思えます。

(おはなし 小林素子)